

2024年度 法学部法律学科 カリキュラムマップ

必修科目 赤字は実習科目

| | |
|------------|---|
| 学部 人材養成 | 法学部は、法律の専門的・体系的知識に基づく法的思考力を修得させ、もって理論実践両面に明るい人材を養成することを目的とする。 |
| 学科 人材養成 | 法学部法律学科は、法律の専門的・体系的知識に基づく法的思考力を修得させるとともに、フィールドワークを通じて実践力を獲得させ、もって地域の行政・企業分野において実務を遂行できる人材、及び企業活動に積極的に関与できる法律のプロフェッショナルを養成する。 |
| 学位授与 方針 | <p>【知識・理解】</p> <p>①人文・社会・自然に関する基本的な情報と知識を有し、それらについての理解ができるようになる。</p> <p>②法学・政治学に関する専門的な知識や思考方法(リーガルマインド)が身についている。</p> <p>【共生・態度】</p> <p>③現代社会のしくみや、他者との間の立場や価値観・文化の違いを理解した上で、相手を尊重したり思いやりやったりする姿勢をとることができる。</p> <p>④より良い生き方の実現を自己の目的として定め、自身の成長のために目標設定し、自己管理し、取り組み続けることができる。</p> <p>【思考・判断】</p> <p>⑤法学・政治学の観点から、適切な推論に基づき、また調査や知識の活用を行いつつ、リーガルマインドをもって筋道立てて思考・判断できる。</p> <p>⑥法学・政治学の観点から、問題を発見でき、さらにその解決に必要な手段を多角的に講じ、総合的な判断に基づき解決策を導き出すことができる。</p> <p>【対話・協働】</p> <p>⑦他者と協調・協働して行動できる。また目標の実現のために、他者に進むべき方向性を示しつつ、主導できる。</p> <p>⑧多様な人々や地域との交流を通じて、どのような他者を相手にする場合であっても、建設的に対話できる。必要であれば外国語を用いてそれを行える。</p> <p>【探究・分析】</p> <p>⑨現代社会の諸課題に対し、様々な手法を活用してデータの生成や整理をしたり、さらには分析したりすることができる。</p> <p>⑩現代社会において求められる、情報を収集し吟味した上で判断する力を身につけることができる。さらには正しい情報を発信することもできる。</p> |

| 大学共通 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|--|---|--|--|--|---|--|--|------|---|-------------|---|--------|---|--|--|--|--|--|---|--|---|--|
| 学位授与 の方針 (再表現) | 外国語 | | 教養教育 | | 基礎科目・キャリア・実技 | | 実習 | | 演習・ゼミ科目 | | 基礎科目 | 専門科目 | 特別講座科目 | リスクマネジメント科目 | 企業実務科目 | 資格講座科目 | 関連科目 | | | | | | | | | |
| 人文社会自然科学を基礎とした幅広い教養を身につけている。グループで協力しながら問題を発見し解決する態度、生涯学び続け成長し続ける意欲と態度を身につける。 | 母語以外の言語で多様な人々の基礎的なコミュニケーションをとるための基本的な語学力を身につける。 | | 社会の基本構造や多様な人々の考え方を知り、自身が社会にどのようにかかわっていくか考えるための基本的な知識を修得する。 | | 社会人として中長期的な人生設計に基づき活躍していくための基本的な知識・技能を修得する。 | | 社会をより深く理解することで湧いてきた課題意識を基に、主体的に取り組む力と「論理的思考力」を身につける。 | | 身に着けた専門性を活用し、グループで協力しながら問題解決に取り組むことと「論理的思考力」と「課題解決力」を身につける。 | | 社会とのつながりを意識し、自己の経験を内省することで、生涯にわたって学び成長する意欲と態度を身につける。 | | 社会一般で必要とされる基礎的な法律の知識を修得する。 | | 基礎的な法律の知識体系を使って、様々な法専門分野とかわる現代社会の問題を分析し考察することができる。 | | 学んだ法律の体系的知識を補完するとともに、発展的知識を身につける。 | | 学んだ法律の体系的知識を活用し、実習を通して課題解決能力とリスクマネジメントの知識を身につける。 | | 学んだ法律の体系的知識を活用し、企業実務と組織運営の実践力を身につける。 | | 学んだ法律の体系的知識を活用し、資格取得に必要なとされる専門知識を修得する。 | | 法律の隣接科目の知識を修得する。 | |
| 現代社会の多様なフィールドにおける諸課題の解決に向けて、法律の枠を超えた総合的的確な考察をする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4年 | | | | | | | | | 専門演習B | | キャリア・チュートリアル | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年 | | | | | キャリアプラン実践 | | インターンシップ事前事後指導 インターンシップ | | 専門演習A | | キャリア・チュートリアル3 | | | | 債権各論1 債権各論2 地方自治法 行政学2 行政救済法 環境法 企業法1 企業法2 税法総論 税法各論 | | 労働法1 労働法2 国際政治学1 国際政治学2 国際法 外国法 登記法1 登記法2 知的財産法 | | リスクマネジメント各論1 リスクマネジメント各論2 リスクマネジメント実習2 | | ビジネス実務法務論3 ビジネス実務法務論4 ビジネス実務法務論5 | | | | 租税論 | |
| 2年 | ※日本語3 | | 外国文学 倫理学 教育学 日本国憲法 人権論 地域学 | | キャリアプラン | | 職業体験事前事後指導 職業体験 海外語学実習 海外社会実習 | | 法律学基礎セミナー1 法律学基礎セミナー2 | | キャリア・チュートリアル2 | | 債権総論 物権法 担保物権法 民事訴訟法1 民事訴訟法2 民法総則2 刑法総論 刑法各論 | | 刑事訴訟法1 刑事訴訟法2 行政法総論 行政学1 政治学1 政治学2 法哲学 法社会学 | | 法政特別講座1(公法) 法政特別講座2(私法) 法政特別講座3(地域) 法政特別講座4(国際) | | リスクマネジメント総論 リスクマネジメント実践論 リスクマネジメント実習1 | | ビジネスと簿記 ビジネス実務法務論1 ビジネス実務法務論2 | | 法職基礎講座(私法1) 法職基礎講座(私法2) 法職発展講座(不動産) 法職発展講座(公法) | | 国際経済学入門 国際社会学 財政学入門 金融論入門 国際金融論 | |
| 1年 | 英語1A 英語1B 英語2A 英語2B 英語リスニング・スピーキング1 英語リスニング・スピーキング2 英語リーディング・ライティング1 英語リーディング・ライティング2 ドイツ語I ドイツ語II 中国語I 中国語II 韓国語I 韓国語II インドネシア語I インドネシア語II ※日本語1 ※日本語2 | | 哲学 日本史 外国史 日本文学 心理学 法学 経済学 社会学 自然科学概論 健康科学 数学と社会 環境科学 データサイエンス 地域連携(多世代交流) ※日本文化 ※日本経済 | | キャリアデザイン スポーツ実技 情報処理演習 アカデミックスキル(思考) アカデミックスキル(表現) アカデミックスキル(情報リテラシーと調査) | | 地域連携(地域貢献) 地域連携(社会貢献) 地域貢献(まちづくり) 社会実習 | | 入門セミナー1 入門セミナー2 | | キャリア・チュートリアル1 | | 憲法1 憲法2 法律学入門1 法律学入門2 民法総則1 | | 親族法 相続法 | | | | リスクマネジメント入門 | | 法職入門講座 法職基礎講座(公法) | | ミクロ経済学 ビジネスとコミュニケーション | | | |

| | |
|--------------|---|
| 教育課程 編成方針 | <p>(1)共通教育科目では、教養教育を担うため全学部共通で設定しており、大学での学修の基礎となる知識やスキル、そして豊かな人間性と高い教養を身につけるべく基幹教育科目群(基礎科目、外国語科目)、教養教育科目群に区分する。</p> <p>①学修の基礎となる知識やスキルの修得のため「入門セミナー1」、「入門セミナー2」を必修として、また「アカデミックスキル(思考)」、「アカデミックスキル(表現)」を配置する。【知識・理解、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>②外国語運用能力の修得、特に英語の運用能力の修得のため、「英語1A」、「英語1B」、「英語2A」、「英語2B」を必修として配置する。その他にも英語・ドイツ語・韓国語・中国語・インドネシア語の科目を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>③豊かな人間性と高い教養を身につけるべく教養教育科目群において、人文・社会・自然の各領域の科目を配置する。また、地域に根差した人材育成のため「地域連携」に関わる科目を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>④キャリア意識をそだてるために、「キャリアデザイン」を必修として、「インターンシップ」、「インターンシップ事前事後指導」等の科目を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働】</p> <p>⑤高度情報化社会の中で活躍できる人材として必要な情報リテラシーや基本的な能力の修得のため、「情報処理演習」、「アカデミックスキル(情報リテラシーと調査)」、「データサイエンス」、「数学と社会」の各科目を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>(2)専門教育科目では、専門科目群、特別講座科目群、リスクマネジメント科目群、企業実務科目群、資格講座科目群、関連科目群、演習群の7つに科目群区分する。</p> <p>①専門科目群は、学生に学年を追って段階的に科目同士の関連性や法的体系性を認識させ、その関連性・体系性から導かれる法的論理力・思考力を涵養させるべく「憲法1・2」、「法律学入門1・2」、「民法総則1・2」等を配置する。また、民法をはじめとする「物権法」、「債権総論」、「刑法総論」等を配置する。さらに、プレゼンテーションや協働能力の向上のために「キャリア・チュートリアル1~4」を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>②特別講座科目群は、専門科目群だけでは不十分な法律科目の学習を補助する科目や法律に限らない特殊な内容を学ぶために「法政特別講座1~4」を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断】</p> <p>③リスクマネジメント科目群は、「リスクマネジメントコース」に所属する学生が、将来の進路に応じて、リスクマネジメントの知識を入門から実践まで体系的に学ぶことができる科目を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>④企業実務科目群は、「キャリアコース」に所属する学生が、将来の進路に応じて、企業の組織運営と企業法務の知識を実践的に学ぶことができる科目を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働】</p> <p>⑤資格講座科目群は、学生が関心や将来の進路に応じて資格取得を目指すことができるように「法職入門講座」、「法職基礎講座」、「法職発展講座」等を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、探究・分析】</p> <p>⑥関連科目群は、教員免許取得に必要な科目やコミュニケーションスキルを養うための科目等を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>⑦演習群は、それまで修得できた知識やスキルを統合するとともにコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、課題発見力、課題解決力等を養成するため「専門演習A・B」を配置する。【知識・理解、思考・判断、対話・協働】</p> |
|--------------|---|

| | |
|------------------|---|
| 入学者 受入れ 方針 | <p>【知識・技能】</p> <p>①高等学校の教育課程を幅広く修得している。</p> <p>②高等学校までの「国語総合(現代文)」や「英語」の履修を通じて、基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>③現代社会の問題について、知識や情報をもとに筋道立てて考え、その内容をわかりやすく表現できる。</p> <p>【主体性・協働して学ぶ態度】</p> <p>④クラブ活動、委員会活動や社会奉仕等を通じて、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につけている。</p> <p>⑤法律学の知識やリーガルマインド及び学内外での様々な体験を社会で活かしたいという目的意識と意欲がある。</p> |
|------------------|---|

| | |
|------------|---|
| 学部 人材養成 | 現代ビジネス学部は、21世紀の社会を展望し、グローバル化の進む世界や地域のビジネス組織、すなわち企業、自治体、民間団体などで活躍できる豊かな教養と知識を有する人材を養成する。 |
| 学科 人材養成 | 現代ビジネス学部地域経済学科は、経済学や経営学に関する基本的な知識を身につけ、企業や地域の組織体での就労を通して産業や地域社会に貢献する中堅的な人材を養成する。 |
| 学位授与 方針 | <p>【知識・理解】</p> <p>①人文・社会・自然に関する基本的な情報と知識を有し、それらについての理解ができるようになる。</p> <p>②地域社会における経済やビジネス上の課題を適切に理解・解決するために必要な専門的な知識や技能が身についている。</p> <p>【共生・態度】</p> <p>③地域社会のしくみや、他者との間の立場や価値観・文化の違いを理解した上で、相手を尊重したり思いやりたりする姿勢をとることができる。</p> <p>④より良い生き方の実現を自己の目的として定め、自身の成長のために目標設定し、自己管理し、取り組み続けることができる。</p> <p>【思考・判断】</p> <p>⑤経済学・経営学の観点から、適切な推論に基づき、また調査や知識の活用を行いつつ、ローカルな視点とグローバルな視点をもって筋道立てて思考・判断できる。</p> <p>⑥経済学・経営学の観点から、問題を発見でき、さらにその解決に必要な手段を多角的に講じ、総合的な判断に基づき解決策を導き出すことができる。</p> <p>【対話・協働】</p> <p>⑦他者と協調・協働して行動できる。また目標の実現のために、他者に進むべき方向性を示しつつ、主導できる。</p> <p>⑧多様な人々や地域との交流を通じて、どのような他者を相手にする場合であっても、建設的に対話できる。必要であれば外国語を用いてそれを行える。</p> <p>【探究・分析】</p> <p>⑨地域社会の諸課題に対し、様々な手法を活用してデータの生成や整理をしたり、さらには分析したりすることができる。</p> <p>⑩現代社会において求められる、情報を収集し吟味した上で判断する力を身につけることができる。さらには正しい情報を発信することもできる。</p> |

| 学位授与 の方針 (再表現) | 大学共通 | | | 現代ビジネス学部共通 | | | | | | | | | |
|----------------------|--|---|---|---|--------------------|-------------------------------------|--|--|--|---------------------------------|---|--|---|
| | 外国語 | 教養教育 | 基礎科目・ キャリア・実技 | 実習 | 演習科目 | 基礎科目 | 基幹科目 | 経済コース | 経営コース | 地域づくりコース | 観光ビジネスコース | スポーツマネジメントコース | 関連科目 |
| 4年 | | | | | 卒業研究 | | | | | | | | |
| 3年 | | | キャリアプラン実践 | インターンシップ 事前事後指導 インターンシップ | 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ | | 地方財政論 グローバル経済論 | 租税論 経済統計 応用経済学 | 企業論 国際物流論 会計学4 ビジネスリーダーシップ ビジネスケーススタディ | 地域経済論 社会調査法 地域づくり実習Ⅱ | ホスピタリティ・マネジメント | スポーツ社会学 スポーツ心理学 スポーツレクリエーション指導実習 | 国際政治学1 国際政治学2 国際法 |
| 2年 | ※日本語3 | 外国文学 倫理学 教育学 日本国憲法 人権論 地域学 | キャリアプラン | 職業体験事前事後指導 職業体験 海外語学実習 海外社会実習 | 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ | 北九州学 ビジネスと法律 | 地域経済入門 マクロ経済学 日本経済論 経済政策論 国際経済学入門 労働経済学 財政学入門 金融論入門 統計学入門 会計学2 会計学3 経営組織論 流通概論 企業論入門 マーケティング論入門 人的資源管理論 | 経済学史 社会保障論 国際金融論 経済史 経済学 環境経済論 国際貿易論 | マーケティング論 経営管理論 中小企業論 ビジネスデータ分析 経営資格講座 | 地域づくり論 都市とコミュニティ 地域づくり実習Ⅰ | ホテルマネジメント論 観光ビジネス論 観光マーケティング論 観光プラン実践Ⅰ 観光プラン実践Ⅱ | コーチング論 スポーツマネジメント概論 イベントプランニング 発育発達論 スポーツバイオメカニクス論 | 憲法2 国際社会学 TOEIC 1 TOEIC 2 Advanced TOEIC 1 Advanced TOEIC 2 ファシリテーション実践 |
| 1年 | 英語1A 英語1B 英語2A 英語2B 英語リスニング・スピーキング1 英語リスニング・スピーキング2 英語リーディング・ライティング1 英語リーディング・ライティング2 ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ インドネシア語Ⅰ インドネシア語Ⅱ ※日本語1 ※日本語2 | 哲学 日本史 外国史 日本文学 心理学 法学 経済学 社会学 自然科学概論 健康科学 数学と社会 環境科学 データサイエンス 地域連携(多世代交流) ※日本文化 ※日本経済 | キャリアデザイン スポーツ実技 情報処理演習 アカデミックスキル(思考) アカデミックスキル(表現) アカデミックスキル (情報リテラシーと調査) | プラン&プラクティス 地域連携(社会貢献) 地域連携(社会貢献) 地域貢献(まちづくり) | 入門セミナー1 入門セミナー2 | 経済学入門 マネジメント入門 グローバル・スタディーズ入門 | ミクロ経済学 経営戦略論 グローバル・スタディーズ入門 会計学1 観光概論 対人コミュニケーション論 | | | | | | ビジネスとコミュニケーション 民法総則 憲法1 法学概論 |

キャリア

| | |
|--------------|---|
| 教育課程 編成方針 | <p>(1)共通教育科目では、教養教育を担うため全学部共通で設定しており、大学での学修の基礎となる知識やスキル、そして豊かな人間性と高い教養を身につけるべく基幹教育科目群(基礎科目、外国語科目)、教養教育科目群に区分する。</p> <p>①学修の基礎となる知識やスキルの修得のため「入門セミナー1」、「入門セミナー2」を必修として配置する。また「アカデミックスキル(思考)」、「アカデミックスキル(表現)」を配置する。【知識・理解、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>②外国語運用能力の修得、特に英語の運用能力の修得のため、「英語1A」、「英語1B」、「英語2A」、「英語2B」を必修として配置する。その他にも英語・ドイツ語・韓国語・中国語・インドネシア語の科目を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>③豊かな人間性と高い教養を身につけるべく教養教育科目群において、人文・社会・自然の各領域の科目を配置する。また、地域に根差した人材育成のため「地域連携」に関わる科目を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>④キャリア意識をそだてるために、「キャリアデザイン」を必修として、「インターンシップ」、「インターンシップ事前事後指導」等の科目を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働】</p> <p>⑤高度情報化社会の中で活躍できる人材として必要な情報リテラシーや基本的な能力の修得のため、「情報処理演習」、「アカデミックスキル(情報リテラシーと調査)」、「データサイエンス」、「数学と社会」の各科目を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>(2)専門教育科目では、基礎科目群、基幹科目群、コース科目群、関連科目群、演習群の5つに科目群区分する。</p> <p>①基礎科目群は、経済学・経営学の基礎科目である「経済学入門」、「マネジメント入門」を必修として配置する。また、PBL型の教育により地域の諸課題の解決策を学生に考えさせることで課題発見力、プレゼンテーション能力、課題へのアプローチ方法、実践力等を身につけるべく「プラン&プラクティス」を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>②基幹科目群は、グローバル化の進む経済社会、ならびに地元北九州の地域特性を理解するため「地域経済入門」を学部の必修科目として配置する。さらに経営学的な思考を身につけるために「会計学1〜3」、「経営組織論」等を配置し、経済・経営の各学問領域における専門的基礎知識を体系的に修得する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>③コース科目群は、地域社会の具体的な問題解決を行い、各学問領域における専門知識を現場で応用できるよう、各コースで必要とされる専門科目を必修化し、それに関連する科目を学問系列ごとに分けて5つのコース科目として配置する。学生は5つのコース「経済コース」、「経営コース」、「地域づくりコース」、「観光ビジネスコース」、「スポーツマネジメントコース」のいずれかに所属する。なお、所属のコース科目で生まれた新たな関心・意欲に応え、幅広い学問領域における専門知識を体系的に修得するため、他のコース科目の履修を推奨する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>④関連科目群は、教員免許取得に必要な科目やコミュニケーションスキルを養うための科目等を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>⑤演習群は、それまで修得してきた知識やスキルを統合するとともにコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、課題発見力、課題解決力等を養成するため、必修科目として「専門演習Ⅰ〜Ⅳ」を配置し、学修の集大成として「卒業研究」を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> |
|--------------|---|

| | |
|------------------|--|
| 入学者 受入れ 方針 | <p>【知識・技能】</p> <p>①高等学校の教育課程を幅広く修得している。</p> <p>②高等学校までの「国語総合(現代文)」や「英語」の履修を通じて、基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>③現代社会の問題について、知識や情報をもとに筋道立てて考え、その内容をわかりやすく表現できる。</p> <p>【主体性・協働して学ぶ態度】</p> <p>④クラブ活動、委員会活動や社会奉仕等を通じて、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につけている。</p> <p>⑤経済学や経営学の知識及び学内外での様々な体験を社会で活かしたいという目的意識と意欲がある。</p> |
|------------------|--|

| | |
|------------|--|
| 学部 人材養成 | 現代ビジネス学部は、21世紀の社会を展望し、グローバル化の進む世界や地域のビジネス組織、すなわち企業、自治体、民間団体などで活躍できる豊かな教養と知識を有する人材を養成する。 |
| 学科 人材養成 | 現代ビジネス学部国際社会学科は、国際社会科学を基にして異文化を理解し国際情勢を読み解くための基礎的な知識を身につけ、現代社会のグローバルな変化に対応できる国際対話能力を養い、国際社会だけでなく地域社会でも活躍する人材を養成する。 |
| 学位授与 方針 | <p>【知識・理解】</p> <p>①人文・社会・自然に関する基本的な情報と知識を有し、それらについての理解ができるようになる。</p> <p>②異文化理解や多文化共生やその他の国際社会における諸課題の解決のために必要な、社会科学的観点に基づく専門的な知識が身につけている。</p> <p>【共生・態度】</p> <p>③国際社会のしくみや、他者との間の立場や価値観・文化の違いを理解した上で、相手を尊重したり思いやりや協力をとることができる。</p> <p>④より良い生き方の実現を自己の目的として定め、自身の成長のために目標設定し、自己管理し、取り組み続けることができる。</p> <p>【思考・判断】</p> <p>⑤国際社会に関する観点から、適切な推論に基づき、また調査や知識の活用を行いつつ、ローカルな視点とグローバルな視点をもって筋道立てて思考・判断できる。</p> <p>⑥国際社会に関する観点から、問題を発見でき、さらにその解決に必要な手段を多角的に講じ、総合的な判断に基づき解決策を導き出すことができる。</p> <p>【対話・協働】</p> <p>⑦他者と協調・協働して行動できる。また目標の実現のために、他者に進むべき方向性を示しつつ、主導できる。</p> <p>⑧多様な人々や国際的な交流を通じて、どのような他者を相手にする場合であっても、建設的に対話できる。必要であれば外国語を用いてそれを行える。</p> <p>【探究・分析】</p> <p>⑨国際社会の諸課題に対し、様々な手法を活用してデータの生成や整理をしたり、さらには分析したりすることができる。</p> <p>⑩現代社会において求められる、情報を収集し吟味した上で判断する力を身につけることができる。さらには正しい情報を発信することもできる。</p> |

| 科目区分 | 大学共通 | | | | 現代ビジネス学部共通 | | | | 英語コース | ハングルコース | 国際コース | 関連科目 |
|----------------------|--|---|---|---|--|--|--|---|--|---|--|--|
| | 外国語 | 教養教育 | 基礎科目・キャリア・実技 | 実習 | 演習科目 | 基礎科目 | 基幹科目 | 英語コース | | | | |
| 学位授与 の方針 (再表現) | 母語以外の言語で多様な人との基礎的なコミュニケーションをとるための基本的な語学力を身につける。 | 社会の基本構造や多様な人々の考え方を理解し、自身が社会にどのようにかかわっていかけるための基本的な知識を修得する。 | 社会人として中長期的な人生設計に基づき活躍していくための基本的な知識・技能を修得する。 | 社会をより深く理解することを通じて課題意識を基に、答えのない課題に主体的に取り組む力を身につける。 | 専門性を活用して社会を読み解き、仲間と意見交換を重ねながら社会と自己の関係を整理し、自らのやるべきことを特定する力を身につける。 | 地域の状況を、歴史、地域特性、政策、地域企業などの状況から把握し、グローバル化の進展する世界において地域社会でどのように生きていくか考えるための基礎的な知識を修得する。 | 国際社会科学・異文化理解に関する専門的な視点から現代社会の多様なフィールドにおける課題をより深く理解し、現代社会に存在する課題を解決していくための専門的な力を身につける | 「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく高め、海外実習等の実践を通して「使える」英語力を習得する。その上で、文学、英語学、英語教育等の専門分野の力をつけると同時に、国際社会事情および異文化理解についての基礎的な知識・技能を身につける。 | 韓国・朝鮮半島への知識を高め、実践的な学びを通して韓国語を修得し、留学や海外実習などで国際感覚を身につける。 | 国際政治、国際経済など、国際情勢を読み解くために必要となる専門的な知識を身につける。また、異文化に対する理解を深め、国際貢献に必要となる知識・スキルを身につけることで、現代社会で活躍できる力を修得する。 | 社会の仕組みの理解を深めたり、社会への参加の意識と可能性を広げるために活用できる知識と技能を学部・学科の専門領域を超えて広く修得する | 組織を円滑に運営するために必要なコミュニケーション能力や他者に対する理解と配慮の能力と、実践的なマナーを身につける。 |
| 4年 | | | | | 卒業研究 | | | | | | | |
| 3年 | | | キャリアプラン実践 | インターンシップ 事前事後指導 インターンシップ | 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ | | 国際政治学1 国際政治学2 異文化コミュニケーション論 国際社会と福祉 国際法 グローバル経済論 グローバル化時代と国際関係 | 英米文学講読1 英米文学講読2 英語研究1 英語研究2 Advanced Reading Advanced Writing Speech & Discussion | 実用韓国語 日韓交流実践 | カルチュラルスタディーズ(宗教) 国際協力実践論 NGO実践論 多文化共生実践論 | ホスピタリティ・マネジメント | |
| 2年 | ※日本語3 | 外国文学 倫理学 教育学 日本国憲法 人権論 地域学 | キャリアプラン | 職業体験 事前事後指導 職業体験 | 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ | 北九州学 ビジネスと法律 | 国際社会学 国際経済学 比較文化論 日本文化論 比較宗教学 アメリカ文学 イギリス文学 欧米社会論 | Advanced TOEIC 1 Advanced TOEIC 2 Communicative English 1 Communicative English 2 Reading Writing 英語学概論 英文法論 英語音声学1 英語音声学2 | 韓国事情1 韓国事情2 韓国語会話Ⅰ 韓国語会話Ⅱ 検定韓国語 | 国際協力論 カルチュラルスタディーズ(思想) カルチュラルスタディーズ(社会) 開発経済論 NGO論 多文化共生論 | ファンリレーション実践 対人コミュニケーション論 | |
| 1年 | 英語1A 英語1B 英語2A 英語2B 英語リスニング・スピーキング1 英語リスニング・スピーキング2 英語リーディング・ライティング1 英語リーディング・ライティング2 ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ インドネシア語Ⅰ インドネシア語Ⅱ ※日本語1 ※日本語2 | 哲学 日本史 外国史 日本文学 心理学 法学 経済学 社会学 自然科学概論 健康科学 数学と社会 環境科学 データサイエンス 地域連携(多世代交流) ※日本文化 ※日本経済 | キャリアデザイン スポーツ実技 情報処理演習 アカデミックスキル(思考) アカデミックスキル(表現) アカデミックスキル(情報リテラシーと調査) | プラン&プラクティス 海外語学実習 海外社会実習 地域連携(地域貢献) 地域連携(社会貢献) 地域貢献(まちづくり) | 入門セミナー1 入門セミナー2 | グローバル・スタディーズ入門 経済学入門 マネジメント入門 | Topic Based English 1 Topic Based English 2 国際社会入門1 国際社会入門2 TOEIC 1 TOEIC 2 外書講読 | | | | | ビジネスとコミュニケーション |

| | |
|--------------|--|
| 教育課程 編成方針 | <p>(1)共通教育科目では、教養教育を担うため全学部共通で設定しており、大学での学修の基礎となる知識やスキル、そして豊かな人間性と高い教養を身につけるべく基幹教育科目群(基礎科目、外国語科目)、教養教育科目群に区分する。</p> <p>①学修の基礎となる知識やスキルの修得のため「入門セミナー1」、「入門セミナー2」を必修として、また「アカデミックスキル(思考)」、「アカデミックスキル(表現)」を配置する。【知識・理解、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>②外国語運用能力の修得、特に英語の運用能力の修得のため、「英語1A」、「英語1B」、「英語2A」、「英語2B」を必修として配置する。その他にも英語・ドイツ語・韓国語・中国語・インドネシア語の科目を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>③豊かな人間性と高い教養を身につけるべく教養教育科目群において、人文・社会・自然の各領域の科目を配置する。また、地域に根差した人材育成のため「地域連携」に関わる科目を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>④キャリア意識をそだてるために、「キャリアデザイン」を必修として、「インターンシップ」、「インターンシップ事前事後指導」等の科目を配置する【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働】</p> <p>⑤高度情報化社会の中で活躍できる人材として必要な情報リテラシーや基本的な能力の修得のため、「情報処理演習」、「アカデミックスキル(情報リテラシーと調査)」、「データサイエンス」、「数学と社会」の各科目を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>(2)専門教育科目では、基礎科目群、基幹科目群、コース科目群、関連科目群、演習群の5つに科目群区分する。</p> <p>①基礎科目群は、グローバル社会における諸問題について、人文・社会科学のさまざまな視点から考える「グローバル・スタディーズ入門」を必修として配置する。また、PBL型の教育により地域の諸課題の解決策を学生に考えさせることで課題発見力、プレゼンテーション能力、課題へのアプローチ方法、実践力等を身につけるべく、「プラン&プラクティス」を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>②基幹科目群は、英語運用能力の向上と英語情報を用いて学ぶ思考力と技術を養うために「Topic Based English 1」を必修科目として配置する。また、「国際社会入門1・2」を学科の必修科目として配置する。さらに国際社会を理解するために「国際経済学」、「グローバル化時代と国際関係」、「異文化コミュニケーション論」等を配置し、国際社会科学の各学問領域における専門的基礎知識を体系的に修得する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>③コース科目群は、国際社会の具体的な問題解決を行い、各学問領域における専門知識を現場で応用できるよう、各コースで必要とされる専門科目を必修化し、それに関連する科目を学問系列ごとに分けて3つのコース科目として配置する。学生は3つのコース「英語コース」、「ハングルコース」、「国際コース」のいずれかに所属する。なお、所属のコース科目で生まれた新たな関心・意欲に応え、幅広い学問領域における専門知識を体系的に修得するため、他のコース科目の履修を推奨する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> <p>④関連科目群は、コミュニケーションスキルを養うための科目等を配置する。【知識・理解、共生・態度、対話・協働】</p> <p>⑤演習群は、それまで修得してきた知識やスキルを統合するとともにコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、課題発見力、課題解決力等を養成するため、必修科目として「専門演習Ⅰ～Ⅳ」を配置し、学修の集大成として「卒業研究」を配置する。【知識・理解、共生・態度、思考・判断、対話・協働、探究・分析】</p> |
|--------------|--|

| | |
|-------------------|---|
| 入学者 受け入れ 方針 | <p>【知識・技能】</p> <p>①高等学校の教育課程を幅広く修得している。</p> <p>②高等学校までの「国語総合(現代文)」や「英語」の履修を通じて、基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>③現代社会の問題について、知識や情報をもとに筋道立てて考え、その内容をわかりやすく表現できる。</p> <p>【主体性・協働して学ぶ態度】</p> <p>④クラブ活動、委員会活動や社会奉仕等を通じて、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につけている。</p> <p>⑤国際社会科学や異文化理解の知識及び学内外での様々な体験を社会で活かしたいという目的意識と意欲がある。</p> |
|-------------------|---|